

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870501438
法人名	(有) 芳光
事業所名	グループホームおくじま
所在地	愛媛県新居浜市北新町 1 2 - 5 2
自己評価作成日	平成22年6月25日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年7月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

地域とのつながりを大切にし、職員の都合に合わせた制約はなく、入居者さんがゆったりと笑顔で過ごせるようにしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

法人代表者は地区の老人会の会長もされながら地域の方達とかかわりを持ち、信頼関係を深めてきておられる。自治会館で地域の方達がカラオケや輪投げ等のゲームを楽しむ時には、利用者も数名参加されている。お手玉や三味線を披露してくれるボランティアの方等も来てくださっている。
事業所では「一般家庭のような食事」作りに努力されており、酢の物・焼き魚・お味噌汁等利用者に「馴染みのある」「見てわかりやすい」食事の内容にされている。調査訪問時、お魚をほくして出されている方もあった。お肉の好きな利用者も多くいるようで、昼食か夕食には、お肉を使った料理が食べられるようにされている。食事の好み等も職員が把握して、カレーがお嫌いの方には肉じゃがにされる等、個々に合わせておられる。利用者は豆の筋とりをされたり、下膳や洗い物をされる方もある。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームおくじま

(ユニット名) 雅(みやび)

記入者(管理者)

氏名 神野栄子

評価完了日 平成22年 6月 25日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 常に理念を基に入居者を支援出来るよう心がけている。	
			(外部評価) 事業所は「私達は地域の中で信頼され、ふれあいのできる施設を目指します」と理念を掲げて、法人代表者は地区の老人会の会長もされながら地域の方達とかかわりを持ち、信頼関係を深めてきておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の自治会に加入し、老人会や行事等にも積極的に参加し交流するように努めている。	
			(外部評価) 近所の方が野菜をおすそわけしてくださったり、自治会館で地域の方達がカラオケや輪投げ等のゲームを楽しむ時には、利用者も数名参加されている。お手玉や三味線を披露してくれるボランティアの方等も来てくださっている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域の方の介護相談を受けたり、地元の看護学生の実習を受け入れている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に一度、入居者の状況、ケア、感染対策、避難 訓練、地域活動等を報告している。 委員の方々の意見も参考にしている。	さらに、会議を貴事業所のサービスの質の向上に活かしてい くために、ご家族等、サービスを利用する方達にも出席いた だけるよう働きかけていかれてほしい。又、関心を持っても らえるような議題の工夫や地域のいろいろな立場の方にも出 席いただき、事業所の取り組み等をさらに知っていただきな がらご意見をうかがってほしい。
			(外部評価) 事業所は、会議を「地域との関係を深めることができるよう な会議にしたい」と考えておられ、民生委員の方等、複数の 地域の方に参加をいただき会議をすすめておられる。会議で は、利用者の状況や行事等活動の報告や職員が受講した研修 の報告もされている。ボランティアで来てくださる方からは 「利用者とかかわる際に気を付けること」等への質問もあ り、管理者は、利用者の状況等も合わせて説明をされた。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 担当者とは、常に何かあれば意見を聞くようにしてい る。	運営推進会議に出席いただける時には、事業所の取り組みに ついて「頑張ってくださいね」と励ましの言葉をいただくこ ともある。市からの依頼もあり、法人代表者を中心にして、 他地区の老人会の設立や地域の高齢者の見守りをすすめる ネットワーク作りの活動等にも協力をされている。
			(外部評価) 担当者は、常に何かあれば意見を聞くようにしてい る。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は、入口の施錠はしない。 職員間で声を掛け合い、見守りを重視して拘束をしな いケアを心がけている。	外部研修で学んだり、内部研修では「どのような言葉 が拘束になるか」ということについても勉強をされ た。
			(外部評価) 外部研修で学んだり、内部研修では「どのような言葉 が拘束になるか」ということについても勉強をされ た。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待ゼロを徹底し、学習とあわせ話し合っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 全職員が理解するよう学習と話し合いはしている。活用の経験はない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約前に説明し、契約時にも重ねて説明し理解、納得してもらっている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 本人や家族の希望は、申し送りやミーティングで話し合っている。 (外部評価) 事業所の夏祭り際には、ご家族も来られて、利用者と一緒に楽しみまわっている。季節ごとに発行する「おくじま新聞」は、行事や誕生日の写真を多く載せて、ご家族、地域、他グループホームに届けておられる。又、ご家族には、毎月の書類とともに、ご本人の生活の様子や体調、エピソード等を書いたお手紙と写真を同封されている。	 ご家族が事業所の行事に参加するような機会を増やしたり、ご家族が集まるような機会を作ってみてはどうだろうか。ご家族にさらに事業所のことを知ってもらい、具体的なご意見をうかがえるような機会を作っていかれてほしい。たとえば、利用者の日中の過ごし方へのご意見や職員の利用者への対応、事業所からの報告についての要望等、具体的にご意見をうかがえるよう工夫されてみてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月1回運営会議を開き、職員の意見を聞いている。代表者は年1回、職員と個別面談し、意見を聞いている。	
			(外部評価)	
			職員は、法人代表者や管理者に、気付いたことをその都度、相談されており、手すりの設置や事業所専用の車の購入等も提案して実現された。職員全員で話し合い事業所の理念に沿って全体目標に「きめ細やかなケア」「言葉遣いに気を付ける」「お互いに声を掛け合いながらケアしましょう」と決めておられ、ミーティング時等に共有しながら取り組みをすすめておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			職員個々の努力や勤務状況の把握に努め、希望する研修に参加できるよう配慮している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			段階に応じて研修に参加している。研修後は報告会を開き、情報を共有している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			グループホーム連絡協議会に加入し、県内の研修に参加している。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居前に本人、家族と面談し、本人の思いを傾聴するよう心がけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	<p>入居前に、今困っていることをよく聞き、対応している。</p>
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	<p>入居者の気持ちを大切に、状況に応じた介護相談をしている。</p>
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>話を聞き、望む生活・趣味・出来る事等を知り、日々生き生きと暮らせるよう、工夫している。</p>
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>入居者と家族の絆が絶えないよう、衣替え、墓参り、外出等働きかけているが、家族へ精神的な負担はかけないようにしている。</p>
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	<p>自宅の近所の方や、遠方の兄弟の方などが訪問してくださっている。</p>
			(外部評価)	<p>実家の近くにドライブに行かれたり、一人暮らしをされていたご自宅に戻っていただいたこともある。近所の方とおしゃべりして懐かしい時間を過ごされた。後日、ご本人を訪ねて来てくださった方もあった。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 日中フロアでみんなと過ごし、洗濯たたみやレクリエーションを職員とともにし、良い関係づくりを心がけている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入居中の生活の様子等を詳しく情報提供している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) その人らしく暮らし続けることができるよう、個々の生活史を大切にし、日中の何気ない会話の中で希望や思いをくみ取るようにしている。 (外部評価) 職員は、利用者との日々のかかわりの中から利用者個々の好き嫌いや大切にしていること「家に帰りたい」という意向等を知り得ておられる。	現在、利用者は重度化傾向にあり、事業所は、個々の思いや意向の把握にむずかしさを感じておられる。事業所では全体目標に「きめ細やかなケア」を掲げておられ、又、管理者は「利用者個々に個別の対応が必要」と話しておられた。日々の中で発信される利用者個々の思いや意向を蓄積して介護計画に採り入れ、よりご本人らしい暮らしの支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) プライベートを考慮しながら、本人や家族等と馴染みの関係を築き、生活歴を把握し個人のアセスメントシートを作成している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の暮らしを共にすることで、生活リズムや出来る力、解る力を発見しチームとして把握するように努める。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	
			<p>受け持ち担当を決め、カンファレンスおよび日々の申し送り等で話し合い、入居者主体の目標を立て、個別性のあるケアプランの作成に努めている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>外部研修で習ったプランの立て方を試しておられた。ご本人の「夢」や「やりたいこと」を掲げたプランの作成に努力されており、ご本人の課題を一つに絞り、3か月で達成できそうなことを目標に挙げるようにされている。利用者も職員も楽しみながら行えるような支援内容になるように気を付けて計画を立てておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>記録は詳細に記入しており、情報の共有をし実践につながるようにしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>デイサービスの音楽療法や催しに参加させてもらっている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>デイサービスの音楽療法や催しに参加させてもらっている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>運営推進会議に民生委員さんが参加されており、地域の情報を教えて下さったり、グループホームの活動に協力されている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	
			<p>運営推進会議に民生委員さんが参加されており、地域の情報を教えて下さったり、グループホームの活動に協力されている。</p>	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			入居前からの主治医に受診してもらっている。受診 時、日常の様子を情報提供している。 往診してもらっている入居者もいる。	
			(外部評価)	
			これまでかかっていた主治医に、続けて診てもらえる ように支援されている。受診時には、ご家族が付き添 われている。いざという時には、協力医が往診に来て くれるようになっていく。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			看護師が常勤しており、体調不良時の対応や日々の健 康管理を行っている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			入院時に医療機関に情報提供し、退院に向けても医療 連携室と連絡を取り合っている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			入居時にホームの対応について説明している。重度化 に向けては早い時期から相談を重ね意志確認をしてい る。	
			(外部評価)	
			利用者の状態変化時には、医師とご家族が話し合い、 医師が事業所での生活が可能と判断した場合は、事業 所でできることを説明して支援されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急対応のマニュアルを作っており、救急手当などは勉強会で復習している。 夜間帯の救急対応についても、周知できている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 災害時のマニュアルを作っており、避難訓練を実施している。地域の方々には運営推進会議で協力をお願いしている。	
			(外部評価) 消防署の方の協力を得て、避難訓練を行われた。又、訓練を行った後には、ミーティングで感想等を出し合い、さらに注意の必要なことについても検討をされている。事業所は建物の2階部分に位置しているため、火災発生時にはベランダに避難するようになっている。地域の方は、いざという時にはホームの中で利用者の避難誘導を職員と一緒にしてくれることになっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 入居者への声かけや、個人の人格の尊厳について勉強する機会を作っている。	
			(外部評価) 職員は、視力の弱い利用者、食事の内容を案内したり、食器を寄せたりしてご自分の力を使って食べられるように支援されていた。管理者は、職員の言葉遣い等、気になるような場面がある時は、タイミングをみてアドバイスするようにされている。	事業所では、今後、職員の介護力のアップから事業所のケアの質向上を目指していきたいと考えておられた。「利用者が落ち着かないような時の声かけや対応、又、認知症の知識や理解を深めるような機会も作ってほしい」と話しておられた。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 普段から入居者の状態に合わせたケアをしている。希望や思いを引き出せるように、複数の選択肢を与える声かけに気をつけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一応一日の流れはあるが、個々のペースを大切にし、笑顔のあるゆったりした暮らしが出来るよう心がけている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 毎日お化粧をしたり、服も自分の好みで決めている。訪問理容院を希望されている方々もいる。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 入居時に嗜好を本人、家族に聞き献立に配慮している。 一緒に準備や片付けを手伝ってもらっている。 (外部評価) 事業所では「一般家庭のような食事」作りに努力されており、「酢の物・焼き魚・お味噌汁等利用者に「馴染みのある」「見てわかりやすい」食事の内容にされている。調査訪問時、お魚をほぐして出されている方もあった。お肉の好きな利用者も多くいるようで、昼食か夕食には、お肉を使った料理が食べられるようにされている。食事の好み等も職員が把握して、カレーがお嫌いな方には肉じゃがにされる等、個々に合わせておられる。利用者は豆の筋とりをされたり、下膳や洗い物をされる方もある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) バランスのとれた食事を提供している。食事量は毎食個々に確認し、体調に合わせて献立を変更したり、食べやすい工夫をしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの声かけを行っている。嫌がる方には、声かけのタイミングを考えたり、職員が変わって声かけしている。義歯の消毒も行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	<p>さりげない声かけや誘導を心がけている。一人ひとりの状況に合わせて夜間のみオムツを使用したり、少しの失敗には尿とりパットを使用したりしている。</p> <p>排泄の状況に合わせて、職員がトイレに誘導されたり、ご自分でトイレに行かれる方も複数おられる。入居前はポータブルトイレを使用されていた方が入居後、トイレまで行かれるようになった方もある。</p>	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	<p>便秘気味の方たちには、乳製品を食べてもらったり、食物繊維をとるためイーjeeファイバーを摂取している。緩下剤も、最低限にできるよう排泄表でチェックしている。</p>	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	<p>毎日午後より入浴できる対応はしている。本人の希望に合わせて入浴してもらっている。血圧などの体調に合わせて随時配慮している。</p> <p>一般家庭のような浴槽で、毎日お風呂を沸かして準備をされている。車いすを使用されていない利用者は、希望を聞きながら入浴を支援され、毎日入る方もある。</p>	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	<p>日中居室で過ごす時間が多い方には、フロアにお誘いし、生活のリズムを整え夜間自然に眠れるよう支援している。</p>	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全職員が把握できるように、薬の内容や作用などを一覧にしている。薬変更時には管理日誌で申し送りをしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 季節行事を楽しんだり、老人会やデイサービスの音楽療法に参加している。日々の暮らしでは一緒に食事の片付けや洗濯物たたみをしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天候の良い日は、買い物やドライブ、散歩を楽しんでいる。地域の行事にも参加している。	
			(外部評価) 天候や体調等をみながらその日のスケジュールを決めておられ、散歩や季節の花を見に出かけたり、地域の行事等にも参加されている。お誕生日の日に、ご本人の希望で職員とともにオムライスを食べに出かけた方もある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人と家族の希望に合わせて、預かっている。本人は持っていない。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 夕方になると不安になり、家族に電話したりしている。家族も快く対応してくれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 室温、湿度には注意し随時チェックしている。季節ごとの飾りをしたり、花を活けたりし五感を刺激できるように工夫している。	
			(外部評価) 共用空間はきれいに掃除されており、折り紙等で作ったカエルとあじさいや太鼓台のポスターが壁に飾られていた。ソファで新聞を読まれていたり、居間の一角には畳のスペースがあり、利用者が腰をかけて洗濯物を畳んでおられる様子がうかがえた。職員のアイディアでベランダにはプランターでお花を育てておられた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロアにはソファを置いたり畳コーナーがある。気の合う人同士が話込んだりされている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) タンスやドレッサーなど思い思いの馴染みの物や写真を持って生活されている。	
			(外部評価) 掃除機をかける等、職員と一緒に掃除をされる方もある。仏壇を持ち込んでおられる方は、ご家族の写真も置いて、時折、以前の懐かしいお話を聞かせてくださるようである。ご家族が、ご本人のお好きな明るい色の可愛い小物を数多く飾ってくださっているお部屋も見られた。ご家族が来られた際に座る椅子を置いておられる方もあった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) てすりや段差のない環境を作り、安全な対応を行っている。 また、異食のある方には、物の置く場所を考慮したり、個々の状況に合わせた対応をしている。	